

区自治協議会提案事業 事業評価書

中央区自治協議会 第1部会

区分	内容
テーマ・事業名	「にいがた2km」エリアの活性化 ～市民目線で隠れた魅力を発信～
事業目的・概要	新潟駅・万代・古町を結ぶ都心軸の周辺エリアである「にいがた2km」を市民目線で盛り上げるため、隠れた魅力を掘り起こし、活気あふれる「歩きたくなるまち」のきっかけ作りを検討し、「にいがた2km」エリアのさらなる活性化を図る。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	【令和3年度実施事項】 ○「にいがた2km」エリアのさらなる活性化に向けた調査・研究 ・各委員が思い描く「理想のまち」について意見交換 ・「にいがた2km」に関するアンケート、ワークショップ形式での意見交換 ・「にいがた2km」における市の取り組み内容に関する勉強会
事業の評価 地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など	○第1部会は地域コミュニティ協議会のほか、新潟商工会議所や新潟中心商店街協同組合、にいがた女性会議、まちづくり学校といった専門分野に関わる委員や公募委員から構成されている。 第1部会の所管事項である商店街や産業、まちなか回遊および交流人口の分野で、それぞれが考える地域課題や興味・関心のある事柄等について意見交換を行った結果、新潟駅や新潟の都心が大きく変わろうとしている今、このエリアを市民の皆さんに、より楽しんでもらいたいという趣旨の意見が多く挙がったことから、市が取り組みを進める「にいがた2km」に関連する取り組みの検討を進めることとした。 ○部会として具体的にどのような事柄をどのような手法でアプローチすべきかの検討を行うためには、市の取り組みなどについて理解を深める必要があると考え、市の事業担当課(まちづくり推進課)を招いて勉強会を開催し、あわせて意見交換も実施した。 ○委員間の意見交換や勉強会を通じて、この「にいがた2km」エリアにはあまり知られていない魅力がまだまだ埋もれてるのではないかとの仮説を立て、にいがた2kmの自慢できるものや大切にしたいもの、本当は教えたくない隠れた魅力等について、第1部会の委員等から意見を募ると同時に、それらの魅力の発信方法について、検討を重ねた。 ○今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動時間も限られたため、テーマ設定から調査・研究に力を注いできた。来年度については、今年度の調査・研究結果を基に、「にいがた2km」エリアのさらなる魅力発信に取り組み、「緑あふれる人・モノ・情報が行き交う活力あるエリア」を目指し、もっと「歩きたくなるまち」のきっかけ作りを仕掛けていきたい。
備考	